

大洗応援隊！

～OPEN OARAI もっと大洗を身近に～

ボランティア

地域交流

代表者：理学部理学科 2年 青山 実樹

連携先

髭釜商店会、大洗商店街活性化委員会、大洗町商工会、大洗町役場まちづくり推進課、商工観光課

顧問教員

伊藤 哲司（人文社会科学部・教授）

参加者

青山 実樹（理学部理学科 2年）
細川 顕大（工学部知能システム工学科 2年）
小沼 里沙（理学部理学科 4年）
星野 春奈（理学部理学科 4年）
松田 健佑（人文学部社会科学科 4年）
鈴木 奈々（農学部地域環境科学科 3年）
今村 祐哉（人文学部社会科学科 3年）
大貫ひかる（人文学部社会科学科 2年）
小野寺 哲（工学部電気電子工学科 2年）
村岡 早紀（人文学部社会科学科 2年）

プロジェクトの概要

大洗応援隊！は2012年より大洗町の髭釜商店街で「ほげほげカフェ」を隔週土曜日に運営してきた。これまでの成果に、カフェの認知度が徐々に上がっている、イベントの開催や情報発信を定期的に行っている等がある。昨年度は、商店街マップの改訂、商店街ジオラマ作成により、カフェに来られたお客様に商店街の情報をわかりやすく伝えた。今年度はさらに、「大洗の交流の輪を広げる」を

テーマとして3つの目標を設定した。

1つ目は、イベントの強化である。カフェのお客様に随時意見を聞き、イベント開催をする。イベントを開催することで、ほげほげカフェを身近に感じてもらうことを期待する。

2つ目は、商店街の認知度の向上である。大洗町の4商店街のマップを作成していたが、昨年度地域の方から、新道商店街を加えてほしいという要望を頂いた。そこで、新道商店街を加えた5商店街のマップを作成する。大洗町の5商店街を観光客の方に知ってもらうことを期待する。

3つ目は、フリーペーパーの作成である。大洗町は観光の町であり、多くの観光客の方が来ている。そこで、地域と学生の二者の関係だけでなく、地域と観光客と学生という三者の繋がりを強化するためにフリーペーパーの創刊号を発行する。地域や観光客の方に対して、相互の大洗町に関する思いを大洗応援隊！（学生）が媒体となって伝えることで、観光客の方に地域や大洗応援隊をより身近に感じてもらうことを期待する。

本プロジェクトを通して、大洗の魅力を多くの人に伝え、「大洗の活性化」を目指す。カフェを地域住民・観光客・学生の交流の拠点として機能させ、交流の輪を広げていく。また、互いがもつ強みや専門性、アイデアを融合して魅力的なイベントを作り出していく。その過程で自分たちの人間力を成長させる。将来的に「大洗応援隊！」が、地域と大学が共に学び創造する場（エリアキャンパ

ス) のモデルケースとなることをプロジェクト実施における最終的な目標とする。

●活動日程

7月	1日	ほげほげカフェ運営 茨城昔話の会開催
	15日	ほげほげカフェ運営
8月	19日	八朔祭りでのほげほげカフェ運営・うちわの配布・フリーペーパー作成のためのアンケート収集
	15・16日	他の大学生ボランティア団体と合宿
		大洗商店街マップのための情報収集
		茨城大学学生広報誌C-mail取材
9月	9日	ほげほげカフェ運営 茨城昔話の会開催
	23日	ほげほげカフェ運営
		大洗商店街マップ・フリーペーパーのための情報収集
10月	7日	ほげほげカフェ運営
	21日	ほげほげカフェ運営
		大洗商店街マップ・フリーペーパーのための情報収集 音楽祭ほげFes企画と出演者募集
11月	3日	音楽祭ほげFes ほげほげカフェ運営

	19日	あんこう祭りでの ほげほげカフェ運営
	11・12日	茨城祭ポスター展示
		大洗商店街マップ・フリーペーパーの作成
12月	10日	ほげほげカフェ運営 茨城昔話の会開催
	16日	ほげほげカフェ運営 クリスマス企画 水戸市内高校生に対し、 大洗応援隊の紹介
	13日	茨城大学学生地域活動発表会2017〈はばたく！茨大生〉でのポスター発表
		大洗商店街マップ・フリーペーパーの作成
1月	13日	ほげほげカフェ運営 茨城昔話の会開催
		大洗商店街マップ・フリーペーパーの印刷

プロジェクトの成果報告

●カフェ運営

大洗町髭釜商店街の空き店舗を活用した「ほげほげカフェ」を月2回程度運営した。運営日は基本土曜日だが、大洗町でイベントがある月はその日程に合うよう調整した。雨天時に雨宿りとして利用して頂けるようにカフェ運営終了後もカフェを解放したり、大洗町でのイベント終了後休憩できるようにカフェの閉店時間を調整したり、少しでも多くの方にゆっくりと休んで頂ける工夫をした。その結果、ゆっくり心ゆくまで休める空間という面を重視して、運営することができた。

カフェ内に自由に絵やコメントが描ける模造紙やノートを設置し、多くの方に描いていただいた。

今後も「10年続くカフェ」を目指し、ほげほげカフェ運営を続けていきたい。



カフェ運営の様子

●イベントの開催

月1回程度、地域の方に茨城昔話の会開催をして頂いた。また、クリスマスには、クリスマス企画としてデコレーションしたマシュマロのプレゼントや、ミルクティーの販売等を行った。

11月3日に、大洗応援隊！主催で、ほげFesという音楽イベントを開催した。SNS、ほげほげカフェ、茨城大学等で宣伝したところ、8組の演奏者に参加して頂くことができた。30人程のお客様が観て下さった。「手作りの良いイベントだった」「また今後もほげほげカフェに来たい」といったコメントを多く頂いた。

今年度イベントの数をもう少し増やす予定だったが、増やすことができなかった。しかし、イベントの開催に関して、メンバー内外で様々な意見を出し合うことはできた。今後学生とカフェのお客様で作っていきけるような小規模なイベントを増やしていきたいと考えている。例えば、トランプや囲碁を使用したゲーム企画ができないか等、実際にほげほげカフェ内でお客様や運営メンバーでやりながら、模索しているところだ。

●商店街マップの作成

大洗応援隊！では、髭釜商店街、曲がり松商店街、大貫商店街、永町商店街の4商店街の情報を掲載した大洗ほげほげマップを2014年に作成し、毎年改訂作業をしている。今年度は、新道商店街を追加し、マップの大幅な改訂を行った。

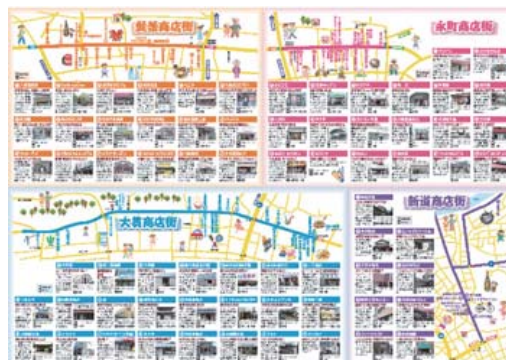
昨年度のマップに掲載した4商店街の店舗を再びまわり、昨年度からの変更点がないか等情報収集を行った。また、新たに新道商店街のお店に伺い、マップに掲載可能かの確認、お店の特徴に関するインタビュー、店舗写真の撮影等を行った。これらの情報をまとめ、マップの改訂を行った。

ほげほげマップでは、102店舗の情報を掲載することができた。500部印刷し、ほげほげカフェ等に置いた。

今後、商店街を訪れた観光客や大洗町の方への配布、SNS上での紹介をしたいと考えている。



ほげほげマップ 表



ほげほげマップ 裏

●商店街フリーペーパーの作成

「ほげほげだより」というタイトルのフリーペーパーを作成した。SNSを見てくださった方やほげほげカフェに来て頂いたお客様など50人以上の方からアンケートに回答して頂いた。アンケート結果は、表紙の写真の決定、「観光客の皆様からの声」の掲載などに利用した。また、商店街をまわりながら多くの方にインタビューをした。それを基に、実際に大洗応援隊メンバーが商店街を「歩いて発見」したことを掲載した。

観光客、商店街など多くの方々にフリーペーパーに関するアドバイスを頂きながら作成した。アドバイスを頂いたことにより、当初の予定と変わった部分もあったが、より良い大洗町を紹介する冊子を作成できた。また、茨城大学の他のサークルとも協力することで、大洗応援隊！のみでは得られなかった情報も掲載できた。

「ほげほげだより」は250部印刷し、ほげほげカフェ等に置いた。

今後、商店街を訪れた観光客の方へ配布していきたいと考えている。また、大洗町の商店街を訪れる機会のない人へも興味を持ってもらえるよう、工夫して配布できたら良いと考えている。



ほげほげだより 表紙

●学生メンバー人手不足の解消

今年度は、茨城大学の他サークルや商店街の方々、ほげほげカフェのお客様と協力しながら、しっかりと運営していくことができた。また、茨城大学の他のサークルなど、多くの繋がりをつくることができた。今後も、協力し合いながら、しっかりと運営していきたい。

広報としては、茨城大学学生広報誌C-mail 2017年春/夏号に、大洗応援隊！に関する記事を掲載して頂いた。また、茨城大学共通教育棟や人文学部棟などでのポスター掲示や、茨苑祭でのポスター掲示をした。

今年度1年生に参加してもらうことができなかったため、人手不足の解消は課題として続いている。今後、茨城大学新歓祭への参加や、茨城学内での授業前告知等を予定している。これらのことから、人手不足を解消していきたいと考えている。